



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3 20 2-03 4 2

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER, 2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

- 国際会長主題 「輝かそう、あなたの光を」
- アジア会長主題 「変革のための光となろう」
- 東日本区理事主題 「未来のために今、学びと気づきを！
未来のために自信を育み、真の喜びに出会う！」
- あずさ部部長主題 「良い結果をもたらす心の安定と考える力を」
- 東京西クラブ会長主題 「無理をしなくて歩く 希望の光に向かって」

2024年4月号

NO 571

すぐにあなたのところへ行って、わたしの口の剣でその者どもと戦おう。

ヨハネの黙示録 2章16節

起きよ、光を放て

大野 貞次

2024年4月号の信徒の友の表紙に「起きよ、光を放て」と書かれていました。

私たちのクラブに向けた言葉として受けとめて見ますと、何やら眠りにつこうとしている私たちに、奮起してこれからの活動を続けろとの言葉とも受け取れますが、3月の事務会では来年度は神谷ワイズを会長に何とか4人の役員を決めるのがやっとの状態で、その先は会員の皆様の健康を考えると、活動が難しいとの意見が大半でした。これからは高齢化と病との戦いになるのではないのでしょうか？ そんなことが頭をよぎります。

そこで「起きよ、光を放て」との言葉に励まされ、活動を進めなければ、クラブが絶えてしまいます。新しき会員を生み出さなければ、どんな方法でも良いから頑張

りますか…。

これからの1年、会員の言葉と行動に期待を込めて進むことが出来ますよう祈ります。

私たちが生活しているこの社会はいろいろなことが起きますね。自然災害、特に今年は1月1日に発生した能登半島の大地震、そして頻繁に起きる各地の地震、それに先日起きた台湾での大地震と自然災害に脅かされていますね。

4月の例会は、東京 YMCA の中里敦さんが能登半島地震の被災地で活動された支援活動についてお話を伺いますので、皆様のお友達をお誘いいただき例会に集まれるように致しましょう。

－4月WHOウォーキングー 百花繚乱・善福寺川緑地・友との再会

期 日：4月27日(第4土曜日)
10時出発

コース：井の頭線西永福駅→理性寺→大宮八幡宮→善福寺川→和田堀公園→杉並区立郷土資料館→和田堀公園第二競技場(昼食)・吉田明弘さんと交流→大圓寺→井の頭線永福町駅で解散

ここの所、下町地区の散策が続いていました。春爛漫の季節になり、歴史ある理性寺と大宮八幡宮を参拝し、水ぬるむ善福寺川に沿って続く緑地と和田堀公園を散策して、土の香りを満喫してください。

また、昨年までリーダーとして、先頭に立って企画運営していただいた吉田明弘さんのご自宅近くなので、ゆっくり交流していただきます。

クラブ役員

- 会 長 本川 悦子
- 副 会 長 神谷 幸男
- 書 記 村野 絢子
- 会 計 篠原 文恵
- 担当主事 横山 弥利

3月の記録			ニコニコ	0円	
在籍者数	11人	メネット	0人	クラブファンド	0円
(内功労会員)	1人	コメント	0人	ファンド残高	114,715円
出席者数	7人	ビジター	0人	ホテ校ファンド	1,083円
メーカー	2人	ゲスト	0人	ホテ校残高	44,469円
出席率	90%	出席者合計	9人	WHO参加者	20人

4 月例会のご案内

強調テーマ：Week4Weste(ゴミのための週)

RBM

寒さもやっと和らぎ、春を迎えられますね。
4 月例会は能登半島大地震の被災地で奉仕活動がされた東京 YMCA の中里敦さんにその活動の報告をしていただきます。皆様の参加をお待ちしています。

日時：4 月 18 日(木) 18:30~20:30

会場：阿佐谷地域区民センター 3 階

(杉並区阿佐谷北 1-1-1 TEL 03-5356-9501)

会費：1,200 円

担当：B 班 (大野、河原崎、篠原)

HAPPY BIRTHDAY

30 日 横山 萌黄

受付 篠原 文恵
司会 河原崎和美

開会点鐘 会長・本川 悦子
いざたて斉唱 一同
聖書朗読・祈祷 大野 貞次
会長挨拶・ゲスト、ビジター紹介

会食 会長 一同

卓話 能登半島地震状況報告
東京YMCA 中里 敦さん

ハッピー・バースデー 会長

ワイズ報告 会長

YMCA 報告 横山担当主事

ニコニコ 一同

閉会点鐘 会長

—3月事務会報告—

日時：3 月 28 日 (木)

16 時 30 分~18 時 00 分

会場：阿佐谷地域区民センター

出席者：大野、神谷、篠原、本川、
村野

<報告事項>

①会計報告：

別紙報告書で承認された。

②3 月 15 日 (金)、山手センターで、東京世田谷クラブと合同例会(担当・東京世田谷クラブ)をした。ゲストの鈴木祐輔さんから、「子育て支援の現状」を伺い、報告では能登の地域支援に YMCA から 1 か月参加したスタッフの中里さんのことを聞いた。

③昨年 7 月に亡くなられた東京たんぽぽクラブの越智京子さんの思い出を語る会が山手センターで 3 月 20 日開催された。当クラブから神谷、篠原、本川さんが参加した。

④東京サンライズクラブの設立 35 周年記念例会が京橋で行われ、高嶋さんが参加した。

⑤東京世田谷クラブが今期で解散の意向を合同例会時に発表された。

<協議事項>=例会関係=

①4 月、5 月の卓話者候補として、能登半島地震支援に参加した中里敦さんから現地の様子を伺いたい。また 1 月にお聞きした東京グリーンクラブの樋口順英さんからポピュラー音楽の続編(ビートルズ以降)をお願いしたいとの声が上がった。

②神谷次期会長から、当クラブの今後についてメンバーで協議したいとの提案があった。

<その他>

東日本区大会 6 月 1 日

参加予定：神谷、篠原、高嶋、
村野

(書記・村野絢子)

卓話者紹介

中里 敦(なかざと・あつし)さん

YMCA が能登半島地震の支援要請を受けたことに伴い、現地責任者として 1 月 24 日~3 月 4 日まで活動された。

プロフィール

YMCA 入職は 1991 年。東京八王子クラブ担当主事、山中湖センター、国際ホテル専門学校、医療福祉専門学校、しのめこども園、西東京コミュニティーセンター、会員部などを経て、4 月より港区立芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ勤務。

越智京子さんの思い出を語る会



山手センター1 階ホールには越智さんの写真が花で囲まれ、越智さんから頂いたという華やかな服で着飾ったたんぽぽクラブのメンバーにより和やかに会が始まりました。

森本俊子あずさ部部长からの心温まるメッセージ、東京 YMCA 学院・堀口廣司学院長の早稲田教会での思い出などが語られ、越智さんのビデオを拝見したあと、石巻広域クラブで行われていた「わくわくサロン」を思い出しながら懐かしい歌を歌い、最後は越智光輝

さん、美香さんご夫妻のミニコンサートを楽しみ、多方面で活躍された越智さんを忍びました。



久しぶりに賑やかな例会は合同例会ならではの。今半のお弁当も美味しかったです。

東京世田谷クラブは6月で解散するそうですが、歌声サークルなど地域の活動は続けていくそうです。

—3月合同例会報告—

3月15日(金)、毎年恒例の東京世田谷クラブとの合同例会は、今年の当番の東京世田谷クラブさんの企画で山手センター2階で行われ、東京メディエーションセンター代表理事の鈴木祐輔さんが「こどもたちのサンタになってください」と題して卓話をなさいました。

「メディエーター」とは「進行役」の意で、家族会議などで落ち着いて話せる、納得がいく最後まで話せる役割を担うというもの、弁護士を頼むほどではないが、冷静な第三者の立場で活躍なさっているとのこと、一つ物知りになりました。

卓話の内容は、世田谷クラブが拠点としている地域子ども達にクリスマスのプレゼントを提供したり、サンタの扮装をした有志が街中を歩いてクリスマス気分を盛り上げる楽しいイベントを紹介してくれました。

沢山のサンタが手を振りながら商店街を練り歩き電車に乗っている姿はテレビでも放映されたそうで、見ている皆が幸せを貰ったことでしょう。

近年子どもたちの環境に格差が生まれ、ワイズメンによる子ども食堂の運営の様子を知るにつけ、色々なボランティアがあることを知り、ここでも一つ勉強になりました。(篠原文恵)

出席者：(東京世田谷) 岩崎弘、小川圭一、小原武夫、松井直樹、峰毅、村野繁、三浦功雄、秋田正人、(東京西) 神谷、河原崎、篠原、高嶋、本川、村野絢子、吉田、<ビジター>鈴木祐輔(子育て支援コーディネーター・卓話)、小原史奈子(東京たんぼぼ)、<メンバー>大野、横山【敬称略】



—3月WHO報告—

深川・門前仲町、早めの花見

「桜ちらほら小春日和」を期待していましたが残念な一日となりました。

3月23日(土)は、予報どおり朝から小雨がぱらつくあいにくのお天気でしたが20人が参加しました。

寒さによる体力消耗をできるだけ防ぐため早めに切り上げることにし、富岡八幡宮をスキップしました。

当日配布のルートマップとスケッチをたよりに巴橋を渡り、寒空にクラゲ寂しい大横川ほつりを歩き、上品な深川ねずみ色の東富橋を経由し、古石場文化センターにてしばし暖をとりました。

そこには深川で生まれ育った小津安二郎監督の展示コーナー



雨の上があった黒船橋で記念撮影、解散後お弁当を広げる人と門前仲町に戻るチームに分かれました

があり、映画ファン垂涎の品々にくぎ付けとなりました。

ついで古石場川に沿って親水公園を歩き、牡丹町公園、深川ワイナリーを経て、スーパー堤防越中島公園に出ました。

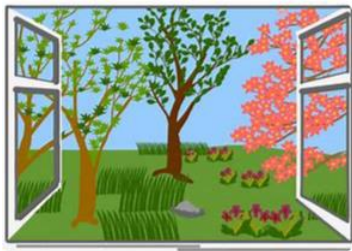
左手から相生橋、隅田川の対岸、大川端リバーシティ21の高層マンション群、中央大橋、新川地区ビル群、永代橋の大パノラ

マをしばらく眺めました。しかし雨が強くなり昼食ができる状態ではなく、大島川水門の脇をとおり大横川にもどり、黒船橋乗船場にある屋根の付いた待合所にて昼食前に解散しました。

ワイズ関係参加者は石井・篠原(東京西)、中澤・藤江(東京たんぼぼ)、樋口(東京グリーン)、関(元広域石巻) (WHO事務局)

父から送られた贈り物

大野貞次



私の住む家は私が中学1年の2学期に墨田区から移り住んでから早や70年が過ぎました。

父はとても草木が好きでした。庭には四季折々に花が咲き、実がなり、それは楽しい小さな庭を残してくれました。その贈り物に今年も多くの花が咲きました。

冬にはサザンカ・椿・黒椿・春先にはクリスマスローズ・水仙・かいどう、そして今はつつじが

赤・白・ピンク等の花を咲かせています。これから夏にかけてさつき・百日紅のかれんな花が咲きます。秋には実りがあります。柿・クルミそして南天の実と、庭はにぎやかです。

そんな父からの贈り物を今年も感謝しながら楽しんでいきます。



朝日新聞

「いわせてもらおう」

から

●ピンポン

玄関に見知らぬ女性が立っていた。「家で眠っている不要な物はありませんか?」「壊れて使えなくなった物でもいいですよ」「何でも引き取ります」。私が「今のところ、ありませんわ」と困っていると、夫が出て来て言った。「俺、どうや?」

(奈良県明日香村・二度と来ないでしょうね・71歳)

●若見えの理由は

夫は孫を連れていると、父親に間違えられるのを自慢にしている。しかし先日、孫も小学2年生になり、「じいじが若い頃の派手な服ばかり着ているから若そうに見えるだけじゃん」と冷やかに言い放った。

(静岡県磐田市・そろそろ新しい服買いましょうね・65歳)

●早口

出かける準備で急いでいた。近くにいた娘に「買う物忘れちゃうから、メモとって」と頼んだ。「キッチンペーパー、ティッシュペーパー、トイレットペーパー、ブラックペッパー」と伝えたら、「お母さん、ラッパー?」と言われた。(埼玉県春日部市・そんなつもりは全くなかったYO!・64歳)

YMCA Today

■ホテル学校では88人のホテルエの卵たちが卒業を迎え、3月19日に卒業式ならびに校友会入会式を霊南坂教会にて挙行し、同日にザ・ペニンシュラ東京にて卒業パーティも行われました。

卒業生全員が内定を取り4月から新しい生活が始まります。新社会人として巣立つこの時期は寂しくもあり、誇らしくもあります。今後の活躍を期待しています。そして、89人の新入生を迎える入学式を4月4日に挙行政たします。大学進学率が高まる中、ホテル業界を目指す高校新卒者の他、留学生数は回復傾向にあります。YMCAでの学びと経験が成長の糧となり、急激な回復とともに人材不足が叫ばれるホテル業界へ、より良い人材を輩出できるように、これからも全力でサポートしていきます。

■輪島市の要請を受けて、能登半

島地震被災地支援として、輪島市町野町の避難所(町野小学校・東陽中学校)に、1月25日から3月末までに東京YMCA各部から合計31人のスタッフを派遣。避難所の受付をはじめ、被災者の生活をサポートするための多様な業務に従事して、高い評価を得ました。4月以降は全国YMCAが協力して同避難所の運営支援を継続していきます。

■2月28日、いじめのない世界をめざす「YMCAピンクシャツデー」が全国のYMCAで実施。東京YMCAでも、各学校、保育園、児童館、学童クラブをはじめ各拠点で、子どもたちや教職員がいじめ反対をアピールするピンクのシャツを着用した他、いじめについて考える様々な取り組みを行い、その様子をHPで紹介しています。

■「2023年度日本YMCAユースボランティア認証」として、全国17のYMCAで活躍するユースボ

ランティア338人が認証を受け、東京YMCAからも野外教育活動をはじめ各方面で活躍しているユースボランティア52人が認証されました。

担当主事 横山弥利

編集後記

先に述べたように地震が度々発生し、多くの方が難儀をされていますね。私たちの身にも起きうる問題ですね。備えをしても自然の力には勝てないかもしれませんね。

また世界では戦争、特にウクライナ、イスラエルに起きている戦争は悪の何物でもありませんね。それぞれが早く収まり平和が訪れますようにと祈るばかりです。

今回も私の手抜きで発行が遅れてしまいました事をお詫びいたします。そして寄稿していただいた皆様には感謝いたします。(T.O)